

Hoplorhynchus ozakii Hukui 1952 の寄生率について

福井 利人 牛島 実

福岡学藝大生物

1. 緒言

アカムカデの消化管に寄生している *Hoplorhynchus ozakii* Hukui 1952 の寄生率については調査されていないので、我々は福岡県内の各地より多数のアカムカデを採集してこの研究を行った。

2. 方法

採集したアカムカデを充分水洗し、開腹後、消化管のみを取り出してその内容を検鏡した。固定剤としては、シヤウゼン氏液を用い、染色剤としては、デラファイールド氏ヘマトキシリン及びハイデンハイン氏アイアンアラ

ムヘマトキシリンを用いた。

3. 観察

Cephalont, Sporont, Gamont 等の地域別寄生率及び平均寄生率は Table I の如し。

次に Cephalont, Sporont, Gamont, 及び Sporoblast 等の時期に依る寄生状態は Table II の如し。

4. 摘要

1) 我々は 857 匹のアカムカデを採集して、それらの消化管に寄生しているグレガリナの一種 *Hoplorhynchus ozakii* Hukui 1952 の寄生率を研究した。このグレガリ

Table I

採集郡市	福岡市	早良郡	糸島郡	粕屋郡	築上郡	遠賀郡	折尾町	合計と平均寄生率
宿主数	581	43	21	58	52	34	68	857
寄生率	48.2%	58.2%	46.5%	60.8%	52.4%	54.4%	61.0%	50.9%

Table II

Month	Number of hosts	Stages of life cycle			
		Cephalont	Sporont	Gamont	Sporoblast
1	15		+	+	
2	18	+	+		
3	36	+++	+		
4	52	++++	+++		
5	88	+++++	++++	+	
6	138	+++++	+++++	++	R
7	154	+++++	+++++	+++	C
8	130	+++++	+++++	+++	CC
9	91	++++	+++++	++	C
10	57	++	+++++	++	R
11	42	+	++++	+	
12	36		++	+	
Total number	857	Parasitic percentage 50.9%			

+印の数の多い程、寄生率の高いことを示す。

CC→very common C→common R→rarely

Tosito Hukui and Minoru Usijima: Parasitic percentage of *Hoplorhynchus ozakii* Hukui 1952.

ナの Cephalont, Sporont, Gamont 等の寄生率は 50.9%であつた。2) このグレガリナの生活史に於ける各

stages の主として観察される月は次の如し。Cephalont は4月より9月まで。Sporont は5月より11月まで。

Gamont は7月及び8月。Sporoblast は7月より9月まで。而して Sporont は上記の月以外のどの月に於ても観察することが出来た。

文 献

1) Hukui, T.: 1952. On a Gregarine, *Hoplorth-*

ynchus bouruiensis sp. nov. from *Otocryptops rubiginosus* Koch. Zool. Magaz. Vol. 61. 2) Hukui, T.: 1952. On a Cephaline Gregarine from *Cryptops japonicus* Takakuwa. Bulletin of Hukuoka Gakugei Univ. Vol. I. 3) Hukui, T.: 1952. On a Cephaline Gregarine from *Otocryptops rubiginosus* Koch. Annot. Zool. Japan. Vol. 25. Nos. 1, 2.